

茨城就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム事業実施計画【概要】

(令和2年12月7日 茨城就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム第2回会議で策定)

I 策定の背景・目的

- いわゆる就職氷河期世代※は、バブル崩壊後の雇用環境が厳しい時代に就職活動を行った世代であり、希望する就職ができず、現在も、不本意ながら不安定な仕事に就いている、無業やひきこもりの状態にあるなど、様々な課題に直面している方は全国で約100万人に上ると見込まれている。
 - 「茨城就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」では、こうした就職氷河期世代が抱える課題を踏まえ、官民一体となって一人ひとりの状況に応じた支援に取り組むことにより、就職氷河期世代の就職・正社員化、職場定着の促進及び多様な社会参加の実現を目指す。
- ※概ね平成5年（1993）年～平成16（2004）年に学校卒業期を迎えた世代を指す。

II 目標

計画期間：令和2年度～令和4年度

- 就職氷河期世代の正規雇用者を7,500人増やす。（政府の目標（骨太方針2019）である30万人の約2.5%）
- 長期にわたり無業の状態にある方には、地域若者サポートステーションの支援による就職件数について282人以上を目指す。
- 社会参加に向けた支援を必要とする方（ひきこもりの状態にある方等）には、県内全市町村で相談窓口を設置し住民への周知の徹底を目指す。

III 取組の方向性

- 都道府県プラットフォームにより各界一体となった取り組みを推進
- 就職氷河期世代、一人ひとりにつながる積極的な広報
- 対象者の個別の状況に応じたきめ細やかな各種事業の展開

IV 主な取組

- ◆ **社会機運の醸成・効果的な周知広報** ➤ 支援対象者一人ひとりに各種施策や社会全体で支援するというメッセージを積極的に届けるため、あらゆる手段（メディア、SNS、WEB、イベント開催等）を活用し、家族、関係者も含め効果的に伝わる周知を展開。

◆ 不安定な就労状態にある方へ

- ハローワーク専門窓口・いばらき就職支援センターを始めとした相談体制の整備・充実
- 中小企業等と就職氷河期世代のマッチングを図る就職面接会や実践的な職業訓練の実施等による雇用機会の拡大
- 助成金等による企業の取組支援

◆ 長期にわたり無業の状態にある方へ

- 地域若者サポートステーションとハローワークの連携を強化し、両者が持つ専門的知見や支援メニューの活用により、支援対象者の就職による職業的自立の実現に向けた支援を行う。
- 支援対象者に対するイベント（就職準備セミナー、職場見学・体験等）を開催し就労に向けた支援を行う。

◆ 社会参加に向けた支援を必要とする方へ（ひきこもりの状態にある方等）

- 社会参加に向けた支援を必要とする者の実態やニーズの把握
- ひきこもり状態にある方やその家族がお住まいの地域で容易に相談ができる環境を整備した上で、広報等により住民への周知を図る。